

小笠原諸島振興開発計画の成果と課題(概要)

	主な成果	残された課題
小笠原諸島の自立的発展	<p>産業の振興開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 農道や漁港など農水産業の基盤整備 農水産業振興のための試験研究や技術開発等 <p>自然環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 小笠原固有の希少種保全や移入種対策 東京都版エコツーリズムの推進など、自然の保護と利用の両立 <p>観光の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園等観光関連施設の開拓及び集客への取組み 幅広い年齢層の観光客の開拓及び集客への取組み 	<p>産業の振興開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 島内流通体制、地産地消及び本土の販路拡大に係る産業間の相互連携と輸送手段の問題は今後も検討が必要である。 <p>自然環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界自然遺産登録に向けた保護担保措置及び外来種対策等の一層の推進が必要である。 <p>観光の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界自然遺産登録を視野に入れ、知名度向上による広範な観光客誘致の検討及び観光関連施設の充実が必要となる。
住民生活及び福祉の向上	<p>交通施設及び通信施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 港湾・道路など島内交通施設の安全性・機能の向上及び景観に配慮した整備 情報センターの整備による村内の行政サービス情報の利活用、緊急放送伝達の確実化 <p>住宅、生活環境施設、集落開発等</p> <ul style="list-style-type: none"> 扇浦地区の宅地分譲 簡易水道や生活排水処理施設の整備・改良等による飲料水の安定供給及び衛生的な生活環境の維持 景観誘導推進による集落内の景観整備 <p>保健衛生施設及び社会福祉施設の整備並びに医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療・福祉の連携強化を目指した診療所の複合施設化に向けた整備(完成は平成22年度の予定) 	<p>交通施設及び通信施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境との調和に十分分配慮した航空路の開設を実現するため、より具体的な検討を進めいく必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> 港湾・道路は今後も防災対策や景観整備等を進める必要がある。 プロードバンド化及び地上波テレビ放送のデジタル化は、まだ検討途上であり、引き続き取組みが必要である。 <p>住宅、生活環境施設、集落開発等</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地利用計画など住宅供給政策を進めが必要がある。 津波浸水対策として父島で浄水場の移転が必要である。 生活排水処理施設についても引き続き老朽化した施設の改良などを進める必要がある。 <p>保健衛生施設及び社会福祉施設の整備並びに医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 複合施設の完成及び医療・福祉サービスの維持・向上のため、今後も着実な施策の推進が必要である。
教育及び文化の振興	<p>防災及び国土保全に係る施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 砂防・地すべり対策による土砂災害防止性能の向上 情報通信基盤として各世帯に整備したIP告知端末の利活用による住民の安全対策の向上 	<p>防災及び国土保全に係る施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 東南海・南海地震対策等、今後も村の地域防災計画等に基づいた施設の実施が必要である。 砂防・地すべり対策等は、今後も継続的な取組みが必要である。 <p>教育及び文化の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 母島小中学校の建替えによる施設の整備・充実 小笠原村文化財保護条例の制定等による保護・保存体制の充実